

氏名	望月浩江	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	小児看護学				
学位	修士				
学歴	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科看護専攻修了				
経歴	2012埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会（役職）	日本小児看護学会、小児保健協会、日本看護科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		子どものセルフケア能力・親のケア能力の獲得を支援する看護師の教育指導力の評価・定着	研究分担者		2019.4～2022.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	小児看護学Ⅰ		7	遠隔授業を構成(オンデマンド授業構成・動画・GW)し、学生のアクティブラーニングを支援した。Zoomでのグループワークを担当し、グループワークが円滑に進むよう学生の討議を支援した。		
2	小児看護学Ⅱ	○	1	「慢性疾患総論」「1型糖尿病をもつ子どもと家族の看護」を担当し、学生が慢性疾患をもつ子どもと家族の成長発達に合わせた長期的な看護援助を理解できるよう講義を行った。また遠隔講義であったため、学生が子どもの生活をイメージできるよう動画を作成し、講義時に使用した。		
3	看護研究		1	次年度卒業研究履修予定者に対し、看護研究講義内において、オリエンテーションを行った。		
4	子どもと家族のヘルスプロモーション		7	学生が小児看護に携わる専門職にインタビューし、学びを深められるようにグループワーク、発表の支援を行った		
5	子どもの保健		1	社会福祉子ども学科学生を対象に子どもの感染症と保育所での対応について講義を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	小児看護学Ⅲ		15	2グループ(学生16名)を担当し、グループ討議、学習を通し、学生がネフローゼ症候群を発症した子どもと家族の看護の必要性・方向性をグループ討議の中から見出せるように支援を行った。遠隔でのGWであったため、学生の討議が円滑に進み学習が深まるように支援した。		
2	小児看護学Ⅳ		15	輸液中の体重測定、清潔ケアの技術習得を担当した。学生が事例の子どもの消耗を最小限に回復に向けた看護実践を主体的に検討しながら獲得できるように支援した。		

3	子どもの保健		3	保育士を志す学生が子どものVS測定、計測、医療的ケア等の技術を理解できるよう支援を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学実習		2021.8～2021.12	学生20名を担当し、臨地での見学実習・遠隔での事例展開実習を行った。学生が臨地での見学場面から、子どもと家族にとっての看護の意味を検討・考察できるように支援した。遠隔実習では、臨地の学びをもとに事例の子どもの全体像を把握し看護を検討できるように支援した。
2	IPW実習		2020.10	学生6名を担当し、学生が事例をとおして多職種連携の実際をグループ検討を通して検討できるよう支援した。また教員FTリーダーを務め、実習施設との連絡・調整を行った。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2021.04～01	主指導 2名 副指導 名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	子どもセルフケア看護推進連絡会議	県立小児医療センター	県立小児医療センターの各部署で実施したオレムセルフケア看護理論に基づいた事例検討について、グループ討議に参加した	2020.9 ～2021.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日本小児看護学会		第31回学術集会企画委員 広報渉外・会場係、実行委員	2020.3 ～2021.7
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県立小児医療センター	看護研究指導	2021.07～2022.03
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	学科等における委員会等		看護学科卒業研究運営担当	2021.4～2022.3
2	学生支援		小児看護学領域への就職に興味を持っている学生に、卒業後の進路について（特に就職先の選択等）について、相談に対応し支援した。また、面接練習を行った。	2021.4～6
3	大学広報活動		大学HPwebオープンキャンパスにおいて、高校生に小児看護学での学習内容を伝えるための講義動画を作成し、掲載した	2022.3
4	学科等における委員会等		7月学科会議書記	2021.7
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			